



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会幹 長：田中 隆義
事 務 員：加納 裕
例 会 員：梅村 昌孝
目 録：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1476回例会

～職業奉仕月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年10月6日(水) 晴 第13回 於：名古屋観光ホテル3階「那古の間」
ガバナー訪問

司 会：名古屋南RC 藤田彰男会場委員長
齊 唱：「奉仕の理想」
ゲ ス ト 国際ロータリー第2760地区ガバナー 田嶋好博さん
国際ロータリー第2760地区地区幹事 水野吉紹さん

名古屋南RC会長挨拶

近藤禎男会長

4RC合同例会ということで慣れないことが多く、不愉快なこともあるかもしれませんがロータリー精神に免じてお許し頂きたく思います。というのは決まり切ったロータリー言葉でございまして、私自身は自分の思っていることを自分の意志で申し上げたいと思います。申し訳ございませんがご辛抱いただければと思います。

田嶋ガバナーにしる歴代のガバナーにしる地区の幹事にしる、文字通り「滅私奉公」で奉仕の上を行くお忙しさであると思います。自分の仕事もご家庭も放り出して走り回らなければとても全うできないような大変な役割をお務めいただいていることにまず感謝申し上げます。またこの1年間健康でつがなくお務めいただきたいと思う次第であります。私は形式主義が大嫌いですので、今回ガバナーを迎えるにあたり、意味のない形式的なものは排除して進めていきたいと思っております。しかし打ち合わせでは形式的なことばかりが決まり、どのような議題をガバナーにぶつけようだとかこういう質問があったらどう答えようだとかいう実質的なことは全く準備できませんでした。形式主義が嫌いだと言いつつ形式主義にどっぷり浸かって本日を迎えたことを田嶋ガバナーと水野幹事にお詫び申し上げます。

前回西村ガバナー補佐がお越しになられたとき、私が地区大会について「時間もお金もたくさんかかり、こんな馬鹿なことはない」と申し上げたところ「あなたがガバナーをやってはどうか」と言われてしまい、大変なことを言ってしまったと思った次第でございます。さりながらあまりに前の方がやったことに傾注するののもうかと思ひまして、このようなロータリークラブを少しずつ変えて行ければと思っております。7月5日にロータリーの財団報告会がありました。我々にとりましては新年度が始まったばかりで、ちょうどその日が今年度第1回例会日というクラブもいくつかあったかと思ひます。その際、田嶋ガバナーは自分のお言葉で「この日を会合日に設定するなんて何を考えているのか」とはっきりおっしゃってください、このガバナーは思っておられることを自分の言葉で伝えてくださる人だと本当に嬉しく思いました。自分の言葉で自分の意志を語れるようなロータリーであればもっともっと楽しいロータリー生活が送れるのではないかと思っております。ロータリーは長く続けることが大事です。そのためには仕事・健康・家庭が全部揃ってこそうまくいくものだと思っております。そういう意味から、私はロータリーの重大な奉仕項目の他に「家庭奉仕」という言葉を使い、ロータリーの会合、サークル活動にはご家族の方にもご参加頂いて楽しいものにしりたいと常日頃から考えております。

本日は多数の先輩を前にして好き勝手なことを申し上げて参りましたがお許しください。このあと田嶋ガバナーから有意義なお話を伺えればと思っております。ありがとうございました。



◀ 4RC会長登壇

出席報告

亀井直人出席委員長

会員66名 出席43名 (出席計算人数53名)

出席率 72.9% 9月30日は補填により 88.5%

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

・ガバナー訪問例会より申し上げます。 田中 隆義さん

・田嶋ガバナーをお迎えして。

大島 浩嗣さん 岩本 成郎さん 松岡 道弘さん
鈴木 淑久さん 大嶽 達郎さん 近藤 雄亮さん
鈴木 圓三さん 高須 洋志さん 市岡 正蔵さん
八木沢幹夫さん

幹事報告

加納 裕幹事

- ・10月7日(木)は振替休会です。
- ・10月14日(木)は持ち出し例会です。会場は名古屋東急ホテル3階「錦の間」となります。お間違えのないようご注意ください。また同ホテル3階「梅の間」において10時30分より第3回地区大会実行委員会を、13時40分より第4回理事会及び第3回クラブアッセンブリーを開催致します。

合同クラブ会長・幹事懇談会

例会前11時30分より田嶋ガバナー及び水野地区幹事をお招きして「合同クラブ会長・幹事懇談会」が開催され、大変有意義なご指導を賜りました。



(当クラブ出席者・田中会長、加納幹事)

ガバナー訪問



先程近藤会長より「奉仕を通り越して滅私奉公である」というお話がありました。パストガバナーからも「2年間は仕事はできないから覚悟しておくように」と言われておりました。しかしやってみるとそれほどのことはありません。地区の仕事は9割方地区幹事がやってくれており、私の役割は決裁することと嫌なことを言うことのみで普通に自分の仕事もできますし一年中ロータリー一漬けというわけではありません。もともと私はロータリーというのは社会生活の延長線上にあるもので、特殊なものではないと考えておりますのでガバナーをやってもそれほどのことはないなあというのが実感です。次の次の次のガバナーはこの西名古屋分区からという段取りになっておりますので、もしお声がかかりましたら気楽にお引き受けいただければと思います。

今回の地区大会はあまRCがホストです。私の方針はとにかく質素倹約で余分な手間暇お金をかけたくないとお伝えしましたので今年の地区大会はかなり質素でございますが、それなりのことはありますので是非楽しみにしてご出席ください。

ガバナー補佐訪問の際、名古屋南RCの方から「経済環境がなかなか向上しない現代、ロータリアンであるメリットは何か」というご質問をいただきました。これは私たち各々がそれぞれの立場に立ってその時代にに応じて判断すればいいことでありガバナーとして意見を申し上げる話ではないと思っておりますが、少しそれに関連するお話をしたいと思っております。近藤会長は「ロータリアンでいられるのは事業も健康も家庭にも恵まれているおかげと感謝の気持ちを持たなければならぬ」とおっしゃっています。まさにそれもロータリーの本質です。また豊田RCの会長は「RCは奉仕団体ではない。奉仕に関心のある者が寄って異業種交流をする場である」とおっしゃっています。RIが聞いたらどう言うかわかりませんが、私は間違っていないと思っております。豊田という土地柄を考えれば恐らくこれが正解なのだろうと思っております。

以前福岡のガバナーからメールが届きました。日銀の支店長が都市銀行の支店長を紹介してロータリーに入会させたという内容でした。都市銀行は公的資金の投入を受け、経費節減ということで一斉にロータリーから撤退しました。金融機関と企業との関係は今や金利をいかに下げるといことだけが接点になっていて完全に冷え切っております。これはまずいと思った日銀の支店長が都市銀行の支店長に「自分の裁量でロータリーに入ってみては」と提案したのだそうです。これは会員拡大の面から言っても良い話ですが、もう一つ「外部からのロータリーに対する評価」という見方もできるのではと思っております。ロータリーがそれなりの評価をされていることがわかり、自信を持つことができました。RIはロータリーの目指す方向として、数年内に世界一の奉仕団体を目指すとはっきり言っています。ロータリーが奉仕団体かどうかについては多くの皆さんが疑問を感じておられることはわかります。しかしRIの方針は理解しておかなくてはなりません。こういう話になると日本の場合必ず職業奉仕のからみが出てきます。ロータリアンである立派な方々が切磋琢磨して職業倫理や人格の向上を図る、要するにロータリーというのは人生の道場である。というのが日本のロータリーの主流の考えとなっております。しかし我々はそろそろ会員増強について考えを改めなくてはこの会員減少は止まらないでしょう。減り続けた結果RIにおいて日本の主張が通らなくなるという大きな問題になるのです。単にクラブの人数を増やしてクラブのやりくりを楽にしようという次元ではなく、日本の真価が問われています。

地区の新世代委員会をなぜ廃止したのかという質問がございました。これは、規定審議会で決まった「新世代奉仕を第五番目の奉仕とする」という規定に則り、その委員会を大切にしないではいけないということでそれを束ねていた親委員会を廃止することになったものです。実はこれは非常に評価を受けております。色々な委員会を階層的に積み上げるのは好ましくありません。ガ

バナーが地区委員を任命するのであれば自分で直接責任をというのがロータリー日本事務局の考えであり、私は良かったと思っておりますし従来小委員会であったこの委員会が大変活発に活動していることも喜ばしく思います。また、新世代が大部門になったということはこれから新世代について新しい事業がどんどん生まれてくる可能性があるということです。その新しい事業は親委員会がやるより従来の4委員会と並んで5番目の委員会に活躍してもらおうが筋であると考えました。地区の委員会の中には形骸化したものが多いため、私は松前さんに「あまり活躍しない委員会に人をたくさん配属するのはやめ、実際に活躍している子委員会に人をたくさん配属したほうがいい」とアドバイスするつもりであります。

また、4月の規定審議会で大事なことが決まりました。「e-クラブを一地区に2つまで作っていい」というものです。e-クラブとはネットを通じてホームページにアクセスして例会に出席するという形式のもので当然当地区でも検討していかなくてはなりません。この件に関しては今期ゆっくり時間をかけてやろうと思っておりましたが先日公式訪問しました西尾張分区のあるクラブが早速e-クラブを作りたいということでしたので驚きました。このe-クラブというのはロータリーにとっては一種の劇薬です。皆が集まる機会が少ないのでクラブと会員、会員相互の連絡がないという馬鹿げたものになる可能性もあります。現在の会員がそちらのクラブに移ることはないと思うので、体の不自由な方や遠隔地の方、仕事が忙しいけど興味がある方という全く新しい分野のロータリアンが開拓できると思っておりますが、それゆえに従来のロータリーとは全く発想の違った人が生まれてくるでしょう。とんでもないことを決定してくれたというのが正直なところではありますが今やITの時代にロータリーがそういうことをしないでいいかと言われるとやむを得ないようにも思います。e-クラブの問題は我々の身近にある問題だということをお知らせしておこうと思っております。

e-クラブができますとよそのクラブにメイクアップする必要は全くなくなりますが、ビジターとして他のクラブを訪問することはとても大事で有意義なことでもあります。私がロータリーに入会したのが1972年で当時はとにかく出席100%が当然の時代で欠席は一切許されませんでした。しかしホームクラブばかりに出席してもいけないのでよそのクラブにも顔を出すよという話があり、一番古いクラブであった東京RCに入会早々出かけたことがあります。クラブの長老の方が私たちビジターに「以前例会日に2.26事件があり皆苦勞して例会に出た」という話を聞かせてくれました。私にしてみれば2.26事件は生まれる随分前の話で、歴史上の事実としては認識しておりましたがそれを直接経験された方から話を伺えるとは思っていませんでした。大変驚いたものです。あとから知りましたがそのご長老の方は毎回そういう話をビジターにしてくださっていたそうです。私のロータリーの思い出はほとんどがビジター先で経験したことであり実はホームクラブでの思い出はあまり良いものがありません。何気なく行った訪問先での出来事がロータリーの思い出となって残っています。

本日はどうもありがとうございました。

例会のご案内

■今週の卓話 10月14日(木) 持ち出し例会

場 所：名古屋東急ホテル

卓話講師：(有)プランニングCanDo 代表取締役
東海ラジオパーソナリティ 森本曜子さん

テ — マ：魔法の言葉で自分の運も未来も変えましょう!

■次週の卓話 10月21日(木)

会員卓話：加納 裕さん

テ — マ：ウガンダ共和国ムィエンガRCを訪問して

■次々週行事 10月28日(木) 職場例会

場 所：トヨタホーム春日井工場